

平成30年度
工学部第3年次編入学
学生募集要項

平成29年3月



日 程 概 要

区 分 項 目	推 薦 入 試			一 般 入 試
	学校推薦	自己推薦	地域貢献枠推薦	
出 願 期 間	平成29年 5 月 1 日(月)～ 5 月 8 日(月)			平成29年 6 月 23 日(金)～ 6 月 28 日(水)
選 考 日	平成29年 5 月 13 日(土)			平成29年 7 月 8 日(土)
合 格 者 発 表	平成29年 5 月 26 日(金)			平成29年 7 月 21 日(金)
意思確認書提出期限	—			平成29年 8 月 2 日(水)

目 次

I	工学部アドミッション・ポリシー	1
II	募集人員	4
III	入学時期及び修学条件	4
IV	出願資格	5
V	出願期間	7
VI	出願手続	8
VII	選抜方法等	10
VIII	合格者発表	11
IX	入学手続等	12
X	障害のある入学志願者等の事前相談	12
XI	個人情報の利用	12
XII	入学志願者のための案内	13
XIII	学生募集要項等の請求方法	18

本学所定用紙（綴じ込み）

- | | | |
|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> 編入学願書 | <input type="checkbox"/> 受験票・写真票 | <input type="checkbox"/> 推薦書（学校推薦用） |
| <input type="checkbox"/> 推薦書（自己推薦用） | <input type="checkbox"/> 推薦書（地域貢献枠推薦用） | <input type="checkbox"/> 振込依頼書等（検定料振込用） |
| <input type="checkbox"/> 返信用封筒（受験票等送付用） | <input type="checkbox"/> 出願用封筒 | <input type="checkbox"/> あて名票・入学願書受付票 |

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
[福井大学ホームページ <http://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9：00～17：00に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。

I 工学部アドミッション・ポリシー

1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

工学部では、グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者を「グローバルイマジニア」と呼び、人材育成の基本コンセプトとしつつ、安全で安心な社会の創造のための基礎的な知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力に加えて、歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を持つ技術者・研究者を養成する。また、工学部では、安全で安心な社会の創造に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元する。

工学部各学科の目的は、以下のとおりとする。

機械・システム工学科	多種多様な革新的機械・システム技術の創造に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成する。
電気電子情報工学科	電気工学から発し、歴史とともに拡大・細分化してきた通信工学、半導体工学、計算機工学、情報工学の学問分野を電気系（連続系）と情報系（離散系）で分割した従来の2学科体制を改めて一学科に統合することで、電気系、情報系の学問基礎の体系的な習得と両分野に跨る分野横断的な応用力と実践力を有する人材を養成する。
建築・都市環境工学科	これまでの建築建設工学科を継承、発展させて建築・都市環境工学科とし、長年にわたり培われてきた建築と土木の専門性に根差しつつも、新たに顕在化しつつある課題すなわち社会基盤施設の維持管理や保全、国土の強靱化、少子高齢化社会への対応、環境調和型の生活空間の構築等に即した教育内容に改善し、安全で安心な社会生活環境の実現に貢献する実践力ある人材を養成する。
物質・生命化学科	物質の構造や性質、その反応に関わる法則などを探究する「物質化学」、生命現象を化学の視点から解明する「生物化学」、物理法則を基礎として材料を取り扱う「材料工学」に関する専門知識を教育する。さらに、繊維をはじめとする高性能・高機能材料の創製や関連科学技術の開拓、医学・工学の融合分野へのバイオテクノロジーの展開などを通じて身につけたスキルや知恵、高い倫理観を駆使し、人類の健やかな生活と持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる人材を養成する。
応用物理学科	工学の幅広い分野に対応できる確固とした理工学の知識・思考方法・応用能力を修得するとともに、総合的な実践力や産業関連知識を自ら学び、課題解決につなげる力、グローバルな行動力、倫理観を身につけた物理を中心とした基礎科学を応用展開できる人材を養成する。

2. 求める学生像

(1) 学部共通

1. 基礎学力があり，チャレンジ精神にあふれる人
2. 科学技術を通して国際社会で活躍したい人

(2) 各学科

機械・システム工学科	<p>「人と地球を支える機械・システム技術にイノベーションを」</p> <ol style="list-style-type: none">1. 数学，物理の基礎学力を有し，大学において，更に高度な知識・見識を修得する意欲のある人2. 人と地球にやさしいものづくりに興味を持つ人3. 広い視野と柔軟な発想力を持ち，自分の考えを正しく表現できる人
電気電子情報工学科	<p>「電気・電子・情報分野の伝承と創造は君の手で」</p> <ol style="list-style-type: none">1. 物理や数学が好きな人2. 電気，電子，コンピュータに興味や好奇心を持っている人3. チャレンジ精神を持って将来活躍したい人
建築・都市環境工学科	<p>「建築物や社会基盤をデザインし，環境を創造する」</p> <ol style="list-style-type: none">1. 建築あるいは都市環境分野に強い興味を持ち，意欲旺盛な人2. 独創的な発想ができ，実践力のある人3. 自分で目標設定ができ，それに向かって努力する人
物質・生命化学科	<p>「創造する化学にチャレンジ！」</p> <ol style="list-style-type: none">1. 化学・物理・生物に興味があり，それらの知識を活かして社会に貢献したい人2. 目的をもち，その実現のため何事にも積極的に努力する人3. 日常の物事や現象に常に疑問をもち，それらについて深く考える人
応用物理学科	<p>「先端科学技術を支える物理学の世界へ」</p> <ol style="list-style-type: none">1. 物理や数学が得意で，将来，先端科学技術分野で活躍したい人2. ものごとを基本に戻って考えることが好きな人3. 手を動かしてものを作ったり実験をするのが好きな人

3. 入学者選抜の基本方針

【編入学（推薦）】

全 学 科 共 通	面接（口述試験を含む）及び出願書類により理数系科目の学力，学習意欲，チャレンジ精神等を判定する。
-----------	--

【編入学（一般）】

機械・システム工学科	学力検査，面接（口述試験を含む）及び出願書類により，理数系科目の学力，学習意欲，チャレンジ精神等を判定する。
電気電子情報工学科	学力検査，面接（口述試験又は必要に応じて口頭試問を行う）及び出願書類により，理数系科目の学力，学習意欲，チャレンジ精神等を判定する。
建築・都市環境工学科	学力検査，面接（口述試験を含む）及び出願書類により，理数系科目の学力，学習意欲，チャレンジ精神等を判定する。
物質・生命化学科	面接（口述試験を含む）及び出願書類により，理数系科目の学力，学習意欲，チャレンジ精神等を判定する。
応用物理学科	面接（口述試験を含む）及び出願書類により，理数系科目の学力，学習意欲，チャレンジ精神等を判定する。

Ⅱ 募集人員

学 科・コース		区 分	推 薦 入 試			一般入試
			学校推薦	自己推薦	地域貢献枠推薦	
機械・システム 工学科	機械工学コース		2名	若干名	若干名	2名
	ロボティクスコース		2名	若干名	若干名	2名
	原子力安全工学コース		1名	若干名	若干名	1名
電気電子情報 工学科	電子物性工学コース		5名	若干名	若干名	5名
	電気通信システム工学コース					
	情報工学コース		5名	若干名	若干名	5名
建築・都市環境工学科			3名	若干名	若干名	7名
物質・生命化学科			若干名	若干名	若干名	若干名
応用物理学科			若干名	若干名	若干名	若干名

Ⅲ 入学時期及び修学条件

(1)編入学時期及び編入学年

平成30年4月に、第3年次へ編入学となります。

(2)単位認定及び卒業要件

単位認定は、出身学校等での修得内容（シラバスで内容を精査する。）に基づき授業科目別に行い、共通教育科目（26単位を限度）と専門教育科目を合わせて76単位を上限とします。

また、編入学した者は、所定のカリキュラムに従って卒業に必要な単位を修得（学科により修得すべき授業科目が異なります。）することになりますが、認定された単位数によっては、2年間で卒業できないこともあります。

なお、卒業要件単位数は、各学科とも124単位以上（専門教育科目92単位以上、共通教育科目32単位）です。

本学のカリキュラムは、工学部・工学研究科ホームページ等で確認することができますので、参考としてください。

「工学部・工学研究科ホームページ」

<http://www2.eng.u-fukui.ac.jp>

「シラバス検索システム」

<https://syllabus1.sao.u-fukui.ac.jp>

Ⅳ 出願資格

推薦入試

推薦共通

- ・志望学科は、出身学校において専攻している学科と同系列^(注①)であること。
- ・他大学へ重複して推薦されておらず、合格した場合には入学を確約できる者

1. 学校推薦

- (1)高等専門学校又は短期大学（建築・都市環境工学科のみ対象）を平成30年3月卒業見込みの者
- (2)人物・学力がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者

2. 自己推薦

次の各号のいずれかに該当することにより、自分自身を強くアピールすることができ、これまでに習得した科学の知識と技術を更に深めたい修学意欲があり、かつ、高等専門学校を平成30年3月卒業見込みの者

- (1)理数系科目又は志望する学科に関連する専門教育科目の学力に優れた者
- (2)“ものづくり”に関連した自作活動や各種コンテスト等において、各種団体、第三者機関、学校等で表彰を受けた者、又はこれらの活動チームの統率や、技術スタッフとして運営に積極的に携わった者^(注②)
- (3)修学生活における様々な諸活動において、集団の統率や、スタッフとして運営に積極的に携わった者^(注③)
- (4)本学工学部及び大学院工学研究科における教育研究に強い関心と意欲がある者

3. 地域貢献枠推薦

次のⅠの各号のいずれかに該当し、卒業後は福井県内に就職又は本学大学院工学研究科に進学し地域社会に貢献しようとする強い意志があり、かつⅡの各号のいずれかに該当する者

Ⅰ(1)高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者

(2)大学を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者

(3)大学に2年以上（休学期間は除く）在学し（平成30年3月をもって2年間在学となる者を含む。）、62単位以上^(注④)を修得した者又は平成30年3月までに修得見込みの者。なお、所定の単位を修得見込みの者が、平成30年3月までに修得できなかった場合には、合格を取り消します。

(4)学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者である場合は、本学において、大学における2年の課程を修了した者と同等以上の学力があると認めた者^(注⑤)

(5)短期大学を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者

(6)専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準^(注⑥)を満たすものを修了した者又は平成30年3月修了見込みの者〔学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。〕

(7)外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者^(注⑦)

(8)高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準^(注⑧)を満たすものを修了した者又は平成30年3月修了見込みの者〔学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。〕

Ⅱ(1)志望する学科に関連する専門教育科目の学力に優れた者で、これまでに習得した科学の知識と技術を更に深めることで、地域の活性化に貢献し、その成果を社会に役立てる意欲のある者

(2)“地域貢献”に関連した活動等において、各種団体、第三者機関、学校等で表彰を受けた者、又はこれらの活動の技術スタッフとして運営に積極的に携わった者^(注⑨)

(3)本学工学部及び大学院工学研究科における教育研究に強い関心と意欲がある者

注①：同系列と判断し難い学科の場合は、出願前に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。

機械・システム工学科へは、情報系、機械系、電気・電子系の学科から出願が可能です。

応用物理学科の出願は、系列を問いません。

②：“ものづくり”に関連した自作活動や各種コンテスト等

・自作活動：機械・電気等を用いた工作物，設計・製図，デザイン，コンピュータプログラム・

Web ページ等デジタルコンテンツ など

・各種コンテスト：ロボコン，プロコン，デザコン，プレコン など

・各種資格・検定等：情報処理技術者試験，デジタル技術検定 など

・その他，“ものづくり”に関連する各種団体や学校等における取組，諸活動等

③：修学生活における様々な諸活動

・高等専門学校等における寮生会，学校祭実行委員会 など

④：「62単位以上」とは、出願資格としての必要単位です。入学前に修得した単位については、本学部の定める基準により個々に認定します。

⑤：出願資格(4)によって出願する者は出願資格等を確認するので、出願期間開始10日前までに本学入試課に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。

⑥：「文部科学大臣の定める基準」とは、「修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であるものに限る」です。

⑦：出願資格(7)によって出願する者は、出願資格等を確認するので、出願期間開始10日前までに本学入試課に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。

⑧：「文部科学大臣の定める基準」とは、「修業年限が2年以上であり、かつ、課程の修了に必要な総単位数その他の事項が、別に定める基準（平成28年3月30日文部科学省告示第63号及び64号）を満たすものであること」です。

⑨：“地域貢献”に関連した活動等

・地域社会の支援，地域産業（工業技術等）との共同研究活動，環境保全活動，住民の生活支援などのボランティア活動

一般入試

次の各号のいずれかに該当する者。

(1)高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者

(2)大学を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者

(3)大学に2年以上（休学期間は除く）在学し（平成30年3月をもって2年間在学となる者を含む。）、62単位以上^(注1)を修得した者又は平成30年3月までに修得見込みの者。なお、所定の単位を修得見込みの者が、平成30年3月までに修得できなかった場合には、合格を取り消します。

(4)学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者である場合は、本学において、大学における2年の課程を修了した者と同等以上の学力があると認められた者^(注2)

(5)短期大学を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者

(6)専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準^(注3)を満たすものを修了した者又は平成30年3月修了見込みの者〔学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。〕

- (7)外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者^(注4)
- (8)高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準^(注5)を満たすものを修了した者又は平成30年3月修了見込みの者〔学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。〕

- 注1. 「62単位以上」とは、出願資格としての必要単位です。入学前に修得した単位については、本学部の定める基準により個々に認定します。
2. 出願資格(4)によって出願する者は出願資格等を確認するので、出願期間開始10日前までに本学入試課に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。
3. 「文部科学大臣の定める基準」とは、「修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であるものに限る」です。
4. 出願資格(7)によって出願する者は出願資格等を確認するので、出願期間開始10日前までに本学入試課に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。
5. 「文部科学大臣の定める基準」とは、「修業年限が2年以上であり、かつ、課程の修了に必要な総単位数その他の事項が、別に定める基準（平成28年3月30日文部科学省告示第63号及び64号）を満たすものであること」です。

V 出願期間

推薦入試（1. 学校推薦、2. 自己推薦 及び 3. 地域貢献枠推薦）

平成29年5月1日(月)～5月8日(月) 17時必着

出願書類等は、本学所定の封筒に同封のうえ、本学入試課へ書留速達で郵送するものとし、5月8日(月)17時まで必着とします。ただし、期限後に到着した出願書類のうち、5月6日(土)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。

一般入試

平成29年6月23日(金)～6月28日(水) 17時必着

出願書類等は、本学所定の封筒に同封のうえ、本学入試課へ書留速達で郵送するものとし、6月28日(水)17時まで必着とします。ただし、期限後に到着した出願書類のうち、6月26日(月)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。

※上記の出願期間終了後に受験者宛てに受験票を返送します。

選考日の2日前までに受験票が届かない場合は、本学学務部入試課（TEL：0776-27-9927）に問い合わせてください。

Ⅵ 出願手続

1. 出願書類等

書 類 等	推 薦			一 般	摘 要
	学校 推薦	自己 推薦	地域 貢献 推薦		
編 入 学 願 書		○			本学所定の用紙 裏面の記入要領を参照し、必ず自書してください。
検 定 料 振 込 受 付 証 明 書 (振込時の注意 事項は、表下の 「2. 出願に当 たつての留意事 項(1)」を参照)		○			30,000円 を、本学所定の振込依頼書により、最寄りの金融機関 の窓口で納入し、納入時に発行される「検定料振込受付証明書」 に「振込受付印」が押印されていることを確認したうえ、 編入 学願書の所定の欄に貼付 してください。 なお、検定料は、以下の期間内の金融機関窓口受付時刻までに 払い込んでください。 推薦入試：平成29年4月17日(月)から5月8日(月) 一般入試：平成29年6月9日(金)から6月28日(水) ※出願時に国費外国人留学生であっても、検定料は一旦納入し てください。試験に合格し本学に入学後も引き続き国費外国 人留学生となる場合には、検定料を返還します。
受 験 票 ・ 写 真 票		○			縦4cm×横3cmの写真(正面向き、無帽、上半身、無背景で出願 前3か月以内に撮影したもの)を各1枚貼付してください。
推 薦 書 (学 校 推 薦)	○				学校推薦 本学所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封し たもの。
推 薦 書 (自 己 推 薦)		○			自己推薦 本学所定の用紙により、自己PR、自己評価を記述 してください。
推 薦 書 (地 域 貢 献 枠 推 薦)			○		地域貢献枠推薦 本学所定の用紙により、自己PR(地域貢献 活動等)、自己評価を記述してください。
成 績 証 明 書		○			出身学校長が作成し厳封したもの。 履修中の科目も記載し、その評価欄には履修中である旨を明記 すること。
卒 業 (見 込) 証 明 書		○			出身学校長が作成したもの。 地域貢献枠推薦 出願資格I(3)の者及び 一般入試 出願資格(3)の 者は、出身学校所定の在学期間証明書(休学期間があればその 期間を明記)を提出してください。
返 信 用 封 筒 (受 験 票 等 送 付 用)		○			本学所定の封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記し、362円分 の切手を貼ってください。
あ て 名 票 (合 格 通 知 等 用)		○			本学所定の用紙 合格通知及び入学手続書類の送付に使用するので、出願後受信 場所が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
そ の 他 資 格 等 を 証 明 す る 書 類		○	○		自己推薦及び地域貢献枠推薦 出願資格に関して、これを証明できる書類等があれば、そのコ ピーを提出してください。

<p>その他資格等を証明する書類</p>	<p>○ ○</p>	<p>地域貢献枠推薦及び一般入試 出願資格(6)の者 在籍している専修学校の専門課程が出願資格(6)の基準を満たしていることの証明書（教育内容等が記載されているもの（履修案内等）も添付してください。） 例・修業年限が2年以上，総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上の専門課程を修了したことを証明するもの ・平成6年6月21日文部省告示第84号の規定により専門士の称号の付与が認められた課程であることを証明するもの</p> <p>地域貢献枠推薦及び一般入試 出願資格(7)の者 外国語により作成された書類には，必ず日本語の訳文を添付してください。</p> <p>地域貢献枠推薦及び一般入試 出願資格(8)の者 在籍している高等学校等の専攻科の課程が出願資格(8)の基準を満たしていることの証明書（教育内容等が記載されているもの（履修案内等）も添付してください。） 例・修業年限2年以上で，かつ，平成28年3月30日文部科学省告示第63号及び64号の規定により編入学の基準を満たしている専攻科の課程を修了したことを証明するもの</p>
<p>該当者</p>	<p>住民票 ○</p> <p>TOEIC 公式認定証 ○</p>	<p>本邦在留の外国人は，市区町村長発行の住民票（本人に係るすべての事項を証明したもの）を提出してください（コピー不可）。海外住居者は，住民票の代わりにパスポートのコピー（姓名，国籍及び在留資格が記載されたページ）を提出してください。</p> <p>機械・システム工学科及び電気電子情報工学科（電子物性工学コース・電気通信システム工学コースの2コース）の志願者 上記の志願者は，TOEIC（L&R）テストの受験結果「Official Score Certificate」（公式認定証）を提出してください。 なお，公式認定書は平成27年（2015）年7月1日以降に実施されたものに限りません。ホームページからダウンロードしたものは認めません。</p>

2. 出願に当たっての留意事項

- (1) 検定料は，出願期間最終日の金融機関窓口終了時刻までに振り込んでください（ATM，インターネット，コンビニエンスストアは使用しないでください。ただし，郵便局・ゆうちょ銀行の場合は窓口にて口座からの振込みのみ可能）。出願は郵送に限り，出願期間最終日17時までに必着であることに特に注意して早めに振り込んでください。
- (2) 出願書類の記入にあたっては，黒のインク又はボールペンを使用（消せるボールペンは使用不可）し，文字は楷書で正確に記入してください。
- (3) 受理した出願書類等の返還並びに記載事項の変更は認めません。
- (4) 出願期間終了後に，受験票を送付します。
- (5) 納入済の検定料は，次の場合を除き，どのような理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を振り込んだが，本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
 - ③ 出願時において国費外国人留学生（文部科学省奨学金を支給されている留学生）で，本学入学後も引き続き国費外国人留学生である場合
 なお，返還方法については本学入試課に問い合わせてください。
- (6) 出願書類等の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には，入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

VII 選抜方法等

推薦入試（1. 学校推薦, 2. 自己推薦 及び 3. 地域貢献枠推薦）

面接（口述試験を含む。）及び書類審査の結果を総合して行います。

学科	期日
全 学 科	平成29年 5 月13日(土) 9：00～ 面接（口述試験を含む。）

一般入試

学力検査, 面接（口述試験又は口頭試問を含む。）及び書類審査の結果を総合して行います。

学 科・コース		日程等		
		平成29年 7 月 8 日(土)		
		学力検査科目等		
機械・システム工学科	機械工学コース	9：00～10：30 数学	11：00～ 面接（口述試験を含む。）	
	ロボティクスコース			
	原子力安全工学コース			
電気電子情報工学科	電子物性工学コース	9：00～12：00 数学, 物理	13：00～ 面接（口述試験を含む。）	
	電気通信システム工学コース			
	情報工学コース	9：00～11：00 数学, 専門	12：00～ 面接 (必要に応じて口頭試問を行う。)	
建築・都市環境工学科		9：00～10：30 数学	11：00～12：30 英語	13：30～ 面接(口述試験を含む。)
物質・生命化学科		9：00～		
応用物理学科		面接（口述試験を含む。）		

学 科	コース	学力検査科目等の内容	
機械・システム工学科	機械工学コース	数学, 英語*	【必須科目】 微分積分, 線形代数
	ロボティクスコース		【選択科目】 3 題中 1 題を選択解答
	原子力安全工学コース		常微分方程式, 確率統計, 解析学 (フーリエ変換, ラプラス変換)
電気電子情報工学科	電子物性工学コース	数学, 物理, 英語*	数学: 線形代数, 微分積分, ベクトル解析, 微分方程式, 確率統計 物理: 力学, 電磁気学, 電気回路, 電子回路 以上の内容より 4 題を出題。
	電気通信システム工学コース		
	情報工学コース	数学, 専門	【必須科目】 基礎数学(微分積分, 線形代数) 【選択科目】 3 題中 1 題を選択解答 論理回路, データ構造とアルゴリズム, 応用数学
建築・都市環境工学科		数学	微分積分, 線形代数, 微分方程式

※機械・システム工学科及び電気電子情報工学科（電子物性工学コース・電気通信システム工学コースの2コース）の英語は、当日、外国語科目（英語）の試験は行いません。TOEICのスコアで評価します。出願時にはTOEIC（L&R）テストの受験結果「Official Score Certificate」（公式認定証）を提出してください。（詳細については、「VI 出願手続」の1. 出願書類等をご確認ください。）

受験上の留意事項（共通）

- (1)試験場 福井大学工学部 福井市文京3-9-1
- (2)試験当日は必ず受験票を携帯し、8時から8時30分間に総合研究棟I 1階 総合大1講義室（裏表紙の建物配置図を参照）に集合してください。
なお、受験者の人数により、集合時間が変わる場合には、別途お知らせします。
- (3)試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。
- (4)必要に応じて昼食を持参してください。
- (5)本学が課す編入学試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。
- (6)試験当日等に、駅や試験場周辺で合否電話等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので十分注意してください。

過去の入試問題の請求方法について

(1)来学される場合

文京キャンパス学務部入試課（アドミッションセンター2階）において配布します。
ただし、祝日を除く月～金曜日の9時から17時までとします。

(2)郵送を希望される場合

本学学務部入試課へ電子メールまたはFAXにより申し込んでください。

申込に際しては、件名に「〇〇入試（〇〇学科）過去問題（または過去問題・募集要項）請求」と明記し、本文に送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いてください。ゆうメールの着払いで郵送します。

Eメール：g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

FAX：0776-27-8010

※過去問題の配布は3年分に限らせていただきます。

※過去問題の解答は非公表となっています。

VIII 合格者発表

推薦入試（1. 学校推薦, 2. 自己推薦 及び 3. 地域貢献枠推薦）

平成29年5月26日（金）10時

一般入試 平成29年7月21日（金）10時

本学入試課掲示場（裏表紙の建物配置図参照）及び本学ホームページ（<http://www.u-fukui.ac.jp>）に合格者受験番号を発表するとともに、合格者あてに合格通知書を送付します。また、推薦入試（学校推薦）の場合は、同日付けで出身学校長にも選考結果を通知します。

なお、電話やメール等による照会には一切応じません。

Ⅸ 入学手続等

一般入試 合格者には、合格通知書とともに「**入学意思確認書**」を送付しますので、**平成29年8月2日(水)までに必ず提出**してください。これを提出しない者は、本学に入学する意思がないものとして取り扱います。

一般入試 合格者で「**入学意思確認書**」により入学を確約した者及び**推薦入試** 合格者に対し、入学手続に必要な書類を平成29年11月上旬に改めて送付します。

Ⅹ 障害のある入学志願者等の事前相談

本学部への編入学志願者で、疾病・負傷や身体障害のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、出願前にあらかじめ本学入試課（電話0776-27-9927）に申し出てください。

申し出に基づき申請が必要となった場合は次によります。

1. 相談申請の期限

推薦入試 平成29年4月10日(月)まで

一般入試 平成29年6月5日(月)まで

2. 相談申請の方法

出願前相談申請書に診断書等必要書類を添付して提出するものとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

Ⅺ 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- (1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- (2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すこととなります。）
- (3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない場合に、学術研究の目的のために提供する場合

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

XII 入学志願者のための案内

1. 工学部概要

福井大学工学部は、5学科からなる日本有数の大規模な工学教育研究機関です。工学の殆どの分野を網羅し、日々進化する工学にすばやく対応して、皆さんのどのような期待にも応えるでしょう。学部学生定員は525名、3年次編入学生定員40名の合計565名です。学生の50%以上が進学する大学院工学研究科は、博士前期課程10専攻、後期課程1専攻からなり、そこでは、さらに高度な世界水準の教育研究が行われています。全国各地から集まった学生の総数は、現在3,143名に達し、同じキャンパスで、学科・専攻や学年を超え、お互いに切磋琢磨しながら楽しい大学生活を送っています。

福井大学工学部・大学院工学研究科の理念は、Global IMAGINEERの育成です。こころに夢を描き（IMAGINE）、それをかたちにできる技術者（ENGINEER）として社会に貢献する研究開発能力を備えた高度専門技術者を育成することです。夢を形にするためには、最先端の専門的な知識や技術を習得するだけでなく、常に自らを批判的に省み、自分の能力を高め、創造力を育む必要があります。さらに、社会に貢献するためには、広い教養を身につけ、多くの人と関わる積極性とコミュニケーション能力を磨かねばなりません。そのために工学部には色々な教育プログラムが組まれています。例えば、専攻した学科以外の学科の専門科目を自由に履修することも可能です。特に系統的に履修した場合には、その分野を副専攻としたことを認定します。また、工学部先端科学技術育成センターでは最新の設備を整え、学生が学科や学年を超えてグループを構成し、創造的・学際的なモノづくりや調査・研究プロジェクトに取り組むことを支援しています。このような本学部の教育は、大学外の専門家による評価も高く、文部科学省が全国の大学から優れた教育を選ぶ「特色ある大学教育支援プログラム」や「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」にも採択されています。

【工 学 部】

機械・システム工学科

電気電子情報工学科

建築・都市環境工学科

物質・生命化学科

応用物理学科

【大 学 院】

工学研究科博士前期課程

機 械 工 学 専 攻

電 気 ・ 電 子 工 学 専 攻

情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 専 攻

建 築 建 設 工 学 専 攻

材 料 開 発 工 学 専 攻

生 物 応 用 化 学 専 攻

物 理 工 学 専 攻

知 能 シ ス テ ム 工 学 専 攻

繊 維 先 端 工 学 専 攻

原 子 力 ・ エ ネ ル ギ ー 安 全 工 学 専 攻

【大 学 院】

工学研究科博士後期課程

総 合 創 成 工 学 専 攻

大学院工学研究科においては、平成14年度にファイバーアメニティ工学独立専攻が、平成15年度には知能システム工学専攻が、また、平成16年度には原子力・エネルギー安全工学独立専攻が設置され、博士前期課程10専攻、平成18年度には原子力・エネルギー安全工学専攻の博士後期課程が設置され、博士後期課程4専攻となりました。平成25年度からは、実践性、学際性を備えた高度専門技術者に対する社会のニーズに応えるため、ファイバーアメニティ工学専攻を繊維先端工学専攻に、博士後期課程4専攻を総合創成工学専攻の1専攻に改組を行い、科学技術教育研究の最先端学府としての役割を名実ともに果たしています。

○学位及び教員免許状

工学部の卒業者は学士（工学）の学位が授与されます。また、所定の単位を修得すれば次の免許状を取得できます。ただし、編入学生の場合、2年間の在学期間では教員免許状の取得が厳しいため、教員免許状の取得を希望している場合は、出願前に必ず学務部教務課（TEL：0776-27-8027）までご相談ください。

学 科 名	高等学校1種
機械・システム工学科	工業
電気電子情報工学科	工業
建築・都市環境工学科	工業
物質・生命化学科	理科
応用物理学科	理科

2. 入学時の諸経費

(1) 入学料・授業料

種 別	金 額	備 考
入 学 料	282,000円（予定額）	入学時1回限り（入学手続き時に納入）
授 業 料	年額 535,800円 （予定額）	年2回（前期4月、後期10月）に分けて納入してください。入学手続き時に前期分267,900円を納入することもできます。また、申し出により前期分を納入の際に後期分（前期分と同額）も一括して納入することができます。なお、在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

①入学料免除及び徴収猶予

入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡若しくは失職（定年退職、自己都合退職を除く）した者、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上でその全額又は半額を免除することがあります。

また、経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者に対しては、申請により選考の上、入学料の徴収を猶予することがあります。

②授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、又は入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡若しくは失職（定

年退職，自己都合退職を除く）した者，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては，申請により選考の上でその全額又は半額を免除することがあります。

(2) その他必要な経費

傷害保険及び賠償責任保険

本学では，教育研究活動中の事故を補償するために，入学時に学生全員が下記の傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）	保険料 2年間分	1,400円（予定額）
学研災付帯賠償責任保険	保険料 2年間分	680円（予定額）

3. 学生生活

(1) 奨学金制度

大学・大学院に在学する学生で，人物・学業ともに優秀かつ健康であり，経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては，独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体，公益法人等及び福井大学独自の奨学金制度があります。

○独立行政法人 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金は，貸与制の奨学金です。この奨学金は，大学卒業又は退学後は必ず返還しなければなりません。また，この奨学金は申込資格要件を満たすことができないとき，申請できない場合がありますので，詳しくは本学の奨学金窓口にお問い合わせください。

種類及び貸与月額

〈学部学生〉

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	自宅通学者 45,000円 自宅外通学者 51,000円， 又は，30,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 30,000円，50,000円，80,000円， 100,000円，120,000円	有利子（在学期間中は無利子） 利率の算定方法は「固定方式」， 又は「見直し方式」より選択

記載の内容は，平成29年1月現在のものです。

貸与の基準や金額等については変更される場合がありますので，奨学金の利用を予定している年度の開始前（3月初旬以降）に，日本学生支援機構のHPにて改めて確認してください。

日本学生支援機構ホームページ <http://www.jasso.go.jp/>

○都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については，奨学生の募集がある場合に学内掲示板で案内しますので，申請を希望する学生は，本学の奨学金窓口にお問い合わせください。

※奨学金制度等を利用する際に，入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には，各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

○福井大学独自奨学金

◆福井大学学生修学支援奨学金

授業料免除申請者（留学生を除く）で、審査の結果半額免除となった学生のうち、経済的に困窮度の高い順に選定し、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。（対象者に、大学院学生を含む）

◆福井大学生協奨学金

福井大学生生活協同組合からの寄附金による奨学金です。授業料免除申請者（留学生を除く）で、審査の結果半額免除となった学生のうち、経済的に困窮度の高い順に選定し、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

(2) 課外活動

正規の教育課程のほかに、学生が豊かな情操を養い、体力を鍛え、将来社会において役立つ経験を積むため、教育の一環としてクラブ活動を認め、かつ、奨励しています。

(3) 健康診断

健康管理のため、文京キャンパスに保健管理センターがあり、健康について医師等の診断や相談を受けることができます。

また、学生の定期健康診断は、春期に行っています。

(4) 相談窓口

履修、生活、就職、人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について、相談に応ずる体制が整っています。

(5) 学生宿舎

本学には、次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で、男女は階別）。

11月上旬に大学ホームページに入居者募集要項を掲載しますので、入居希望者は内容をよく確認し、入居申請準備をしてください。

名 称	定員	新入生入居 募集人員	構 造	室定員	寄宿料	光熱水料等	所 在 地
国際交流学生宿舎	209人	約30人	鉄筋コンクリート 5階建…1棟 4階建…2棟	1人	月額 4,700円	月額 約10,000円	〒910-0017 福井市文京5-13-10 (文京キャンパス から徒歩約8分)

(6) その他

よりよい学生生活のために食堂、売店、書店などの福利厚生施設があります。また、遠隔地の学生のために下宿・アパート等の紹介をしています。

詳細は、福井大学生生活協同組合（電話 0776-21-2956）に問い合わせてください。


4. 平成29年度 工学部3年次編入学試験入学者状況

学 科	募集人員			志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
	学校 推薦	自己 推薦	一般	学校 推薦	自己 推薦	一般	学校 推薦	自己 推薦	一般	学校 推薦	自己 推薦	一般	学校 推薦	自己 推薦	一般
機 械 工 学 科	5	若干名	4	1	0	23	1	0	21	1	0	11	1	0	6
電気・電子工学科	5	若干名	4	2	0	20	2	0	15	2	0	9	2	0	6
情報・メディア工学科	5	若干名	5	0	1	19	0	1	15	0	0	11	0	0	11
建築建設工学科	3	若干名	7	10	1	27	10	1	27	4	0	9	4	0	6
材料開発工学科	若干名	若干名	若干名	3	0	5	3	0	2	3	0	2	3	0	0
生物応用化学科	若干名	若干名	若干名	1	0	8	1	0	8	1	0	3	1	0	3
物 理 工 学 科	若干名	若干名	若干名	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1
知能システム工学科	若干名	若干名	2	0	0	4	0	0	3	0	0	2	0	0	2
計	18		22	17	2	108	17	2	92	11	0	48	11	0	35

XIII 学生募集要項等の請求方法

1. テレメールによる請求方法

(1) 福井大学ホームページ（パソコン）からの請求方法

本学ホームページ（<http://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試資料の請求方法」から  テレメールにアクセスしてください。

※本学ホームページ内の「受験生の方へ」では大学の概要や入試情報等も紹介しています。

(2) テレメールホームページ（パソコン・携帯電話・スマートフォン）または自動音声応答電話による請求方法


①下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット （パソコン・携帯電話・スマートフォン）	http://telemail.jp	 携帯電話・スマートフォンなら、QRコードを読み取るだけでアクセスできます。
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 （24時間受付） ※一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分毎に約11円です。 ※住所・氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりと話してください。 登録された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ず登録してください。	

②請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号
工学部第3年次編入学募集要項	583292
大学案内	563252

③ガイダンスに従って申し込んでください。

- ・請求してから2～3日後に資料が届きます。
受付時間や地域、配達事情によっては、到着までに4日以上かかる場合もあります。
- ・送料は資料に同封されている支払方法に従い、表示料金を支払ってください。
（支払いに際して手数料が別途必要になります。）
- ・  テレメールでの請求についての問い合わせ先
 テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102（9:30～18:00）

2. 大学への請求方法（できるだけ テレメールで請求してください。）

「工学部第3年次編入学学生募集要項請求」と明記し、送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、本学学務部入試課へメールまたはFAXにより申し込んでください。
「ゆうメール」の着払いで送付します。

E-mail：g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

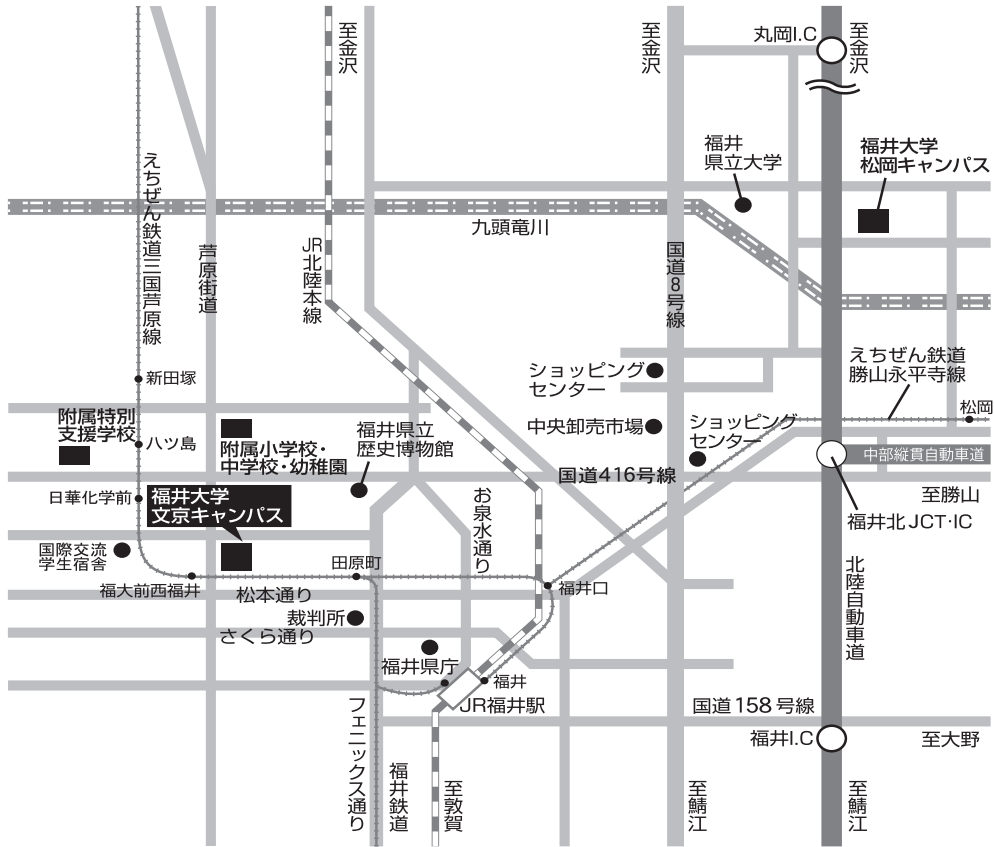
FAX：0776-27-8010

3. 窓口での請求方法

本学窓口で配付します。（祝日を除く月～金曜日の9:00～17:00）

文京キャンパス：福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

福井大学文京キャンパス位置図



文京キャンパスへの経路

- バス J R 福井駅-(約10分)-福井大学前下車
[J R 福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
<http://bus.keifuku.co.jp/>
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅-福大前西福井駅下車
[J R 福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
<http://www.echizen-tetudo.co.jp/>
- タクシー J R 福井駅-(約10分)-福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km
福井ICから国道158号線で西へ約8km

交通機関(時刻表等)

J R 西日本	http://www.jr-odekake.net/
京福バス	http://bus.keifuku.co.jp/
えちぜん鉄道	http://www.echizen-tetudo.co.jp/

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- JRで 大阪・京都-湖西線経由-福井
(特急で、京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自動車で 大阪・京都-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バスで 大阪・京都-<名神・北陸>-福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

- JRで 名古屋・静岡-米原経由-福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自動車で 名古屋-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (約2時間)
- 高速バスで 名古屋-<名神・北陸>-福井(約2時間50分)

東京方面から

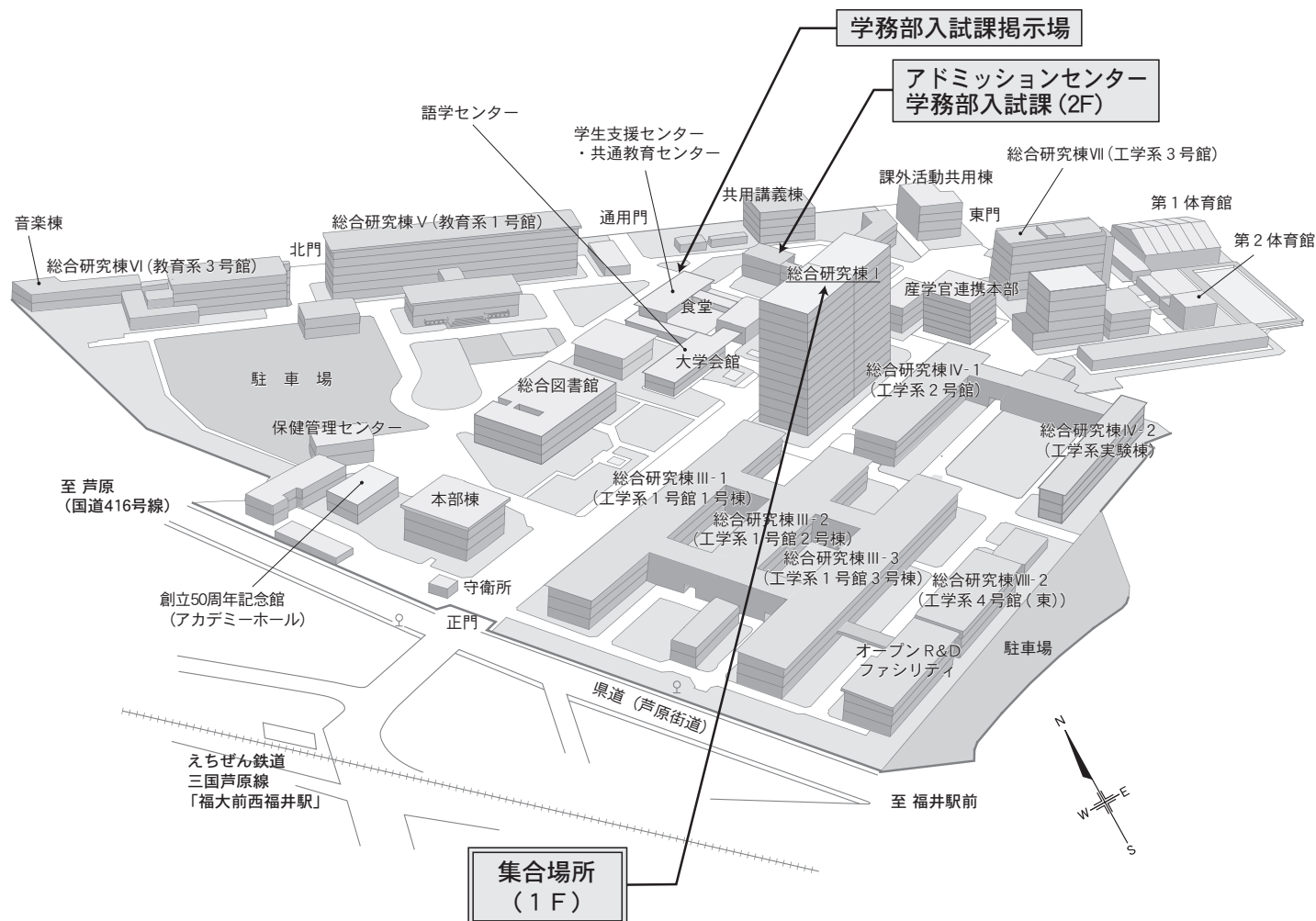
- 飛行機で 東京羽田-小松空港(1時間)-福井(連絡バス1時間)
- JRで 東京-米原経由-福井(新幹線・特急3時間30分)
- 自動車で 東京-<東名・名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC
(約6時間30分)
※高速バスもあります。

金沢・新潟方面から

- JRで 金沢・新潟-福井(金沢から特急で約40分)
- 自動車で 金沢-<北陸>-丸岡・福井IC (約1時間)



福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京 3-9-1

TEL 0776-27-9927

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
[福井大学ホームページ <http://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。